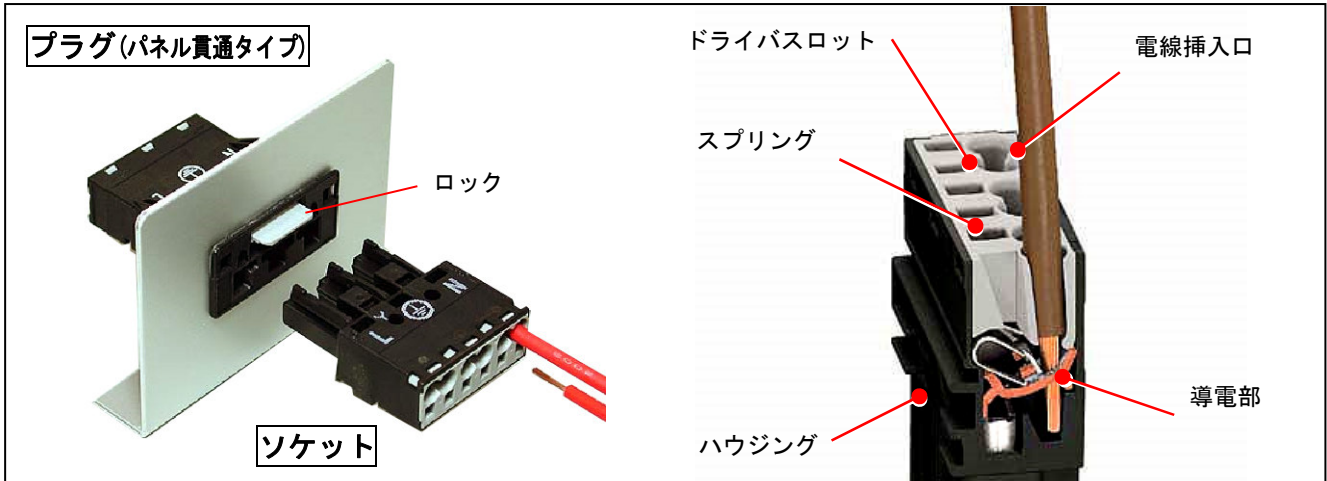


# 結線作業説明書

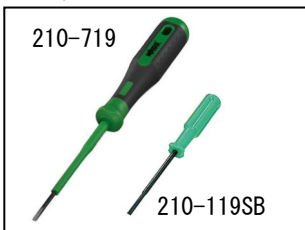
ケージランプコネクタ WINSTA MIDI 770シリーズ

## ■ 構造



## ■ 使用工具

### ● ドライバ



ドライバ(標準)  
型番：210-719  
ドライバ(ミニ)  
型番：210-119SB

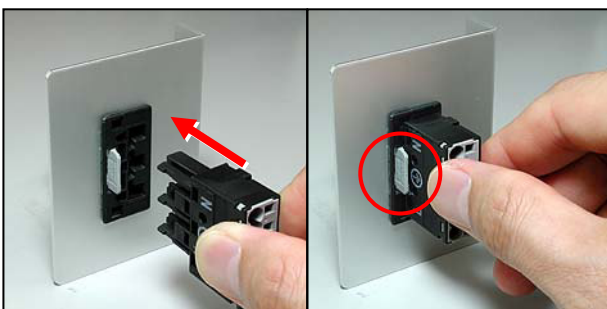
### ● ワイヤストリッパ (推奨)



ワイヤストリッパは、むき長さが守れ、電線を傷つけないものをご使用ください。  
クイックストリップバリオ  
型番：206-1125

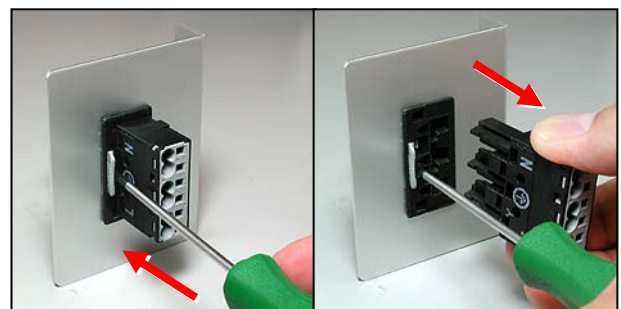
## ■ プラグとソケットの着脱方法

### ● 取り付け



ソケットの向きを確かめ、ロックがカチッというまで差し込んでください。

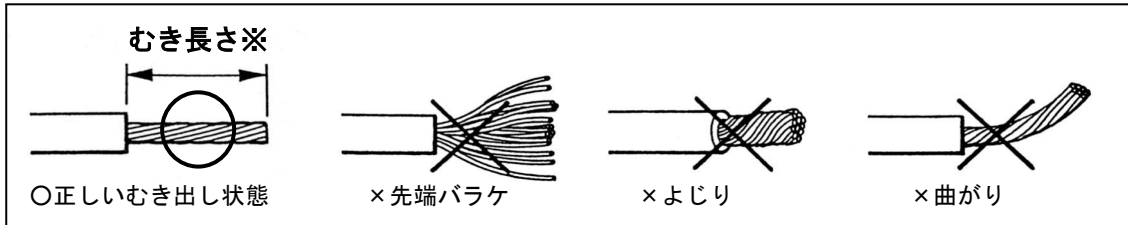
### ● 取り外し



ドライバをロックとソケットの間に差し込み、持ち上げます。ドライバを差したまま、ソケットを引き抜きます。

■ 電線のむき出し ○必ず規定のむき長さを守ってむき出してください。

※電線被覆外径φ3.4mm未満の電線 →9mm、電線被覆外径φ3.4-4.1mmの電線 →13mm



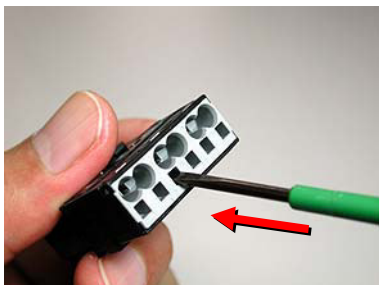
曲がりは修正してから、また先端バラケやよじりの場合は先端をカットして再結線作業を行ってください。

■ 結線作業 ○下図に従って作業してください

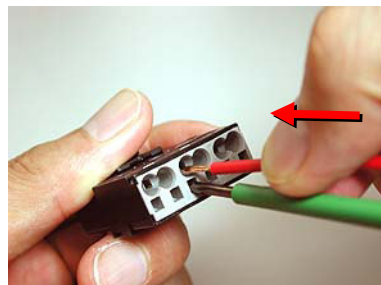
※原則として1つの電線挿入口には1本の電線を接続してください。

(JIS 9960-1 (IEC 60204-1) 13.1.1 一般要求事項による)

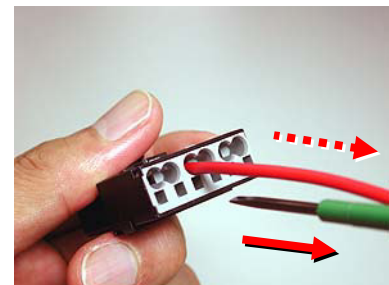
#### より線を結線する場合



① ドライバを操作用スロット(角穴)に斜めに差し込みます。正しく差し込めばドライバは保持されます。

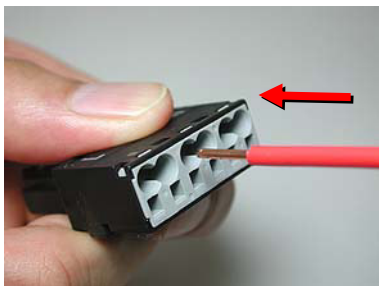


② 正しくむき出した電線を電線挿入口から突き当たるまで差し込みます。



③ ドライバを抜けば結線できます。確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください)

#### 単線を結線する場合

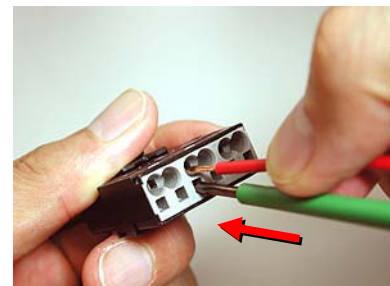


① 正しくむき出した電線を電線挿入口から突き当たるまで差し込みます。(ドライバは不要です)



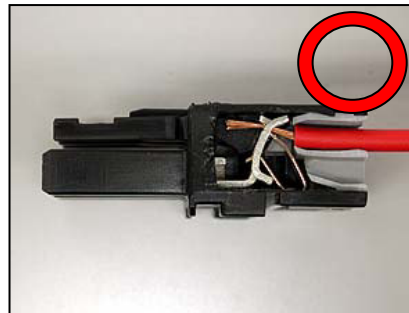
② 確認のため、電線を軽く引っ張ってください。(強く引っ張らないでください)

#### ■ 離線作業



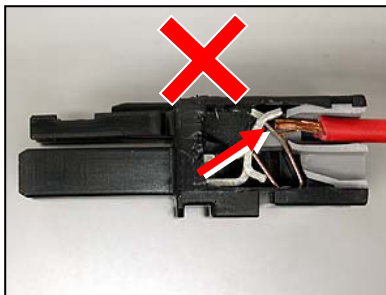
より線の結線作業①と同様の方法でスプリングを開放すれば、電線を取り外せます。

■ 結線作業時の注意事項

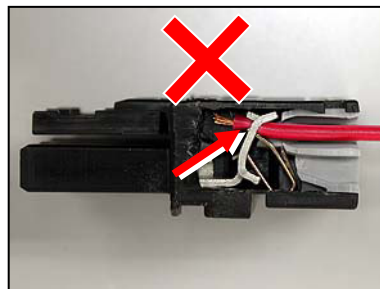


正しく結線された例

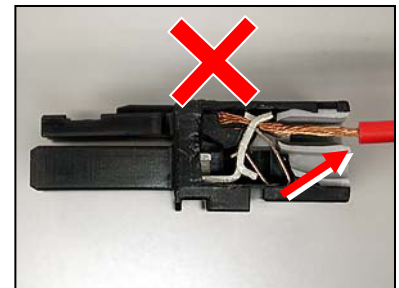
1. 電線のむき長さは、必ず守ってください。



むき長さが短く、電線が正しくクランプされなかった場合。通電不良や発熱の恐れがあります。

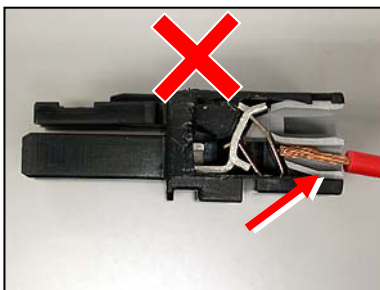


むき長さが短く、電線の被覆をかんでしまった場合。通電不良、発熱の恐れがあります。



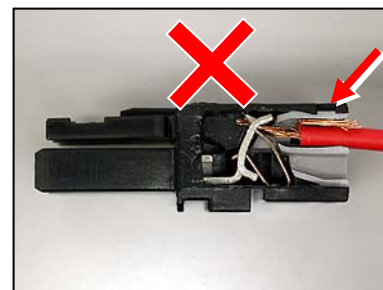
むき長さが長く、電線が露出してしまった場合。絶縁不良、ショートの原因となります。

2. スプリングとハウジングのすき間には絶対に電線を差し込まないでください。



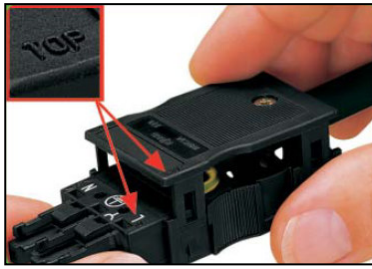
あやまってドライバスロットに電線を差し込んだ場合。導電部に接触しないので、通電不良、発熱の恐れがあります。

3. 電線のバラケに注意してください。

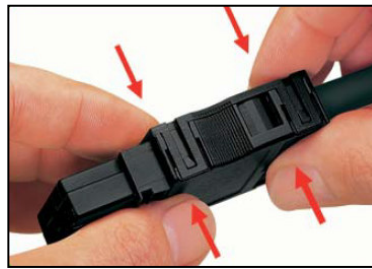


挿入時に電線がバラけてしまった場合。絶縁不良、発熱の恐れがあります。

## ■ ストレインリリーフの取り付け



①結線の終わったコネクタを“TOP”面が合うようにストレインリリーフハウジングに収めます



②カバーを上下から押して嵌合ツメがパチンというまでしっかりと組み合わせます



③固定用ネジを締め付けるとケーブルがハウジングに固定されます。

## ■ コネクタのコーディング



①ソケットに一体成形されているピンを折り取ります



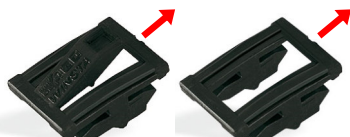
②折り取ったピンをプラグに差し込む事で、同じ極数のコネクタ使用時の誤差込を防止します。

## ■ ロッキングデバイス

ロッキングデバイス(オプション)はスナップインで取り付けでき、コネクタをロックすることにより抜け防止が可能です。特に中継用途で空中配線に使用する場合には必要です。



ロッキングデバイスをソケット側に取り付けます。取り付け方向に注意してください!



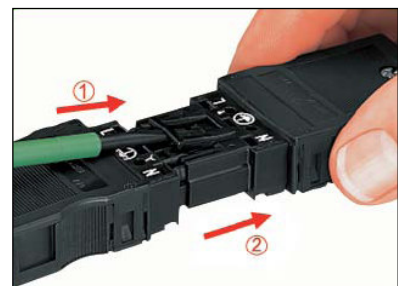
指操作タイプ  
型番：770-101

工具操作タイプ  
型番：770-111



指操作タイプのロッキングデバイスによる操作

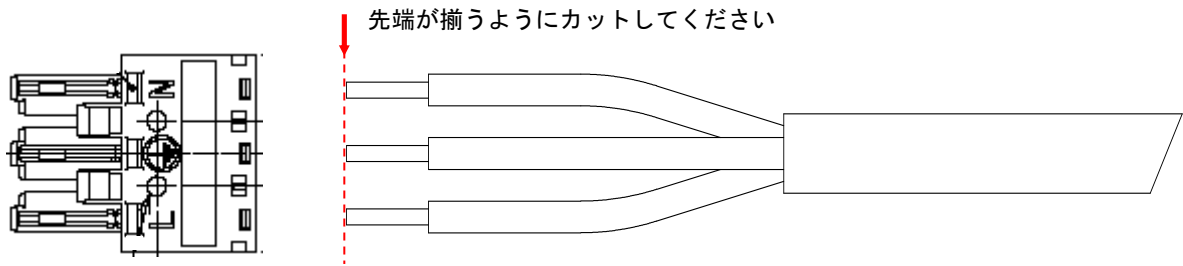
1. ロッキングデバイスを押し下げます
2. コネクタを引けば分離できます



工具操作タイプのロッキングデバイスによる操作

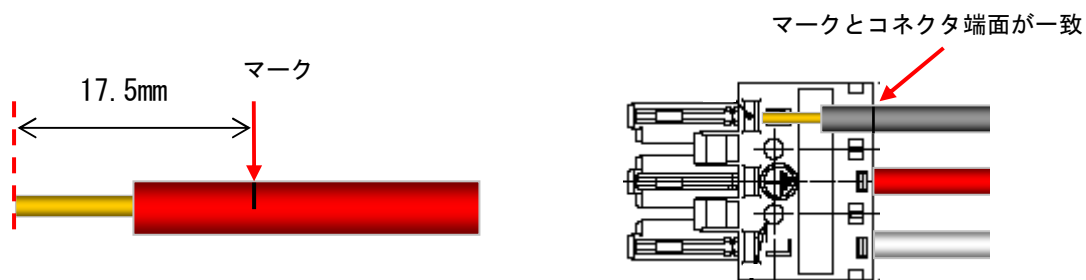
1. ロッキングデバイス下部にドライバを差し込みます
2. コネクタを引けば分離できます

## ■ 多芯ケーブルを結線される際のご注意



- ◆多芯ケーブルをご使用される場合には、剥き出した電線の先端が揃うようにカットしてください。
- ◆一本目の電線を挿入した後、次の電線を結線される際に電線に大きな回転方向の応力を加えないようにしてください。電線が一本結線された状態で回転させると電線が抜ける可能性があります。
- ◆多芯ケーブルを結線される場合は、他の電線から引っ張られる応力が加わる可能性がありますのでご注意ください。図の様に結線前に揃えて結線される事をおすすめします。

## ■ 電線挿入量チェックが可能な施工方法



- ◆WINSTA 770 シリーズに正しく電線を挿入した場合には、電線先端から 17.5mm の位置が WINSTA の電線挿入口端面になります。
- 図の様に電線先端から 17.5mm の位置にマークすると電線挿入の不足や過多がチェック可能です。